




2026年5月14日

各位

上場会社名  藤倉化成株式会社  
代表者 代表取締役社長 栗原 進  
(コード番号 4620 東証スタンダード市場)  
問合せ先責任者 取締役 管理本部長  
土谷 豊弘  
電話番号 (03) 3436-1101

## 第11次中期経営計画（2023年度～2025年度）の総括 及び第12次中期経営計画の公表延期について

当社は、2023年度より第11次中期経営計画（2023年度～2025年度）を推進してまいりました。また、2026年度より開始を予定しておりました第12次中期経営計画につきましては、その公表を延期することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 第11次中期経営計画（2023年度～2025年度）の総括

#### (1) 事業計画の振り返り

第11次中期経営計画において、当社グループは「次世代に繋げる新しい姿の構築」を基本方針として、事業ポートフォリオの導入、樹脂合成技術を基盤とした高付加価値製品の創出、研究開発体制の強化及びサステナビリティ課題への取り組みを推進してまいりました。

一方で、計画期間中は原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇に加え、市場環境の変化などの影響を受け、売上高及び収益性の面で中期経営計画において想定していた目標水準との間に乖離が生じる結果となりました。

(単位：百万円)	2023年度 (1年目)	2024年度 (2年目)	2025年度 (3年目)	2025年度目標 (2023年時点)
売上高	52,612	55,528	55,636	63,000
営業利益	1,299	1,306	2,271	4,000
ROE	2.8%	1.3%	7.0%	8.0%

#### (2) 重点戦略における成果と課題

重点戦略として掲げた「技術開発の拡充」「注力事業の強化」「基盤事業の収益性拡大」「サステナビリティの取り組み」「経営基盤の強靱化」において、以下の成果と課題が明確となりました。

### 【成果】

- ・樹脂合成技術を基盤とした差別化製品の上市
- ・新商品の拡販による収益性向上
- ・全社的なサステナビリティ課題の明確化

### 【課題】

- ・原材料価格高騰の影響を吸収する価格面での対応
- ・シェア拡大施策及び新規顧客開拓
- ・収益性向上に対する全社的な意識浸透

上記内容の通り、第 11 次中期経営計画では一定の成果を上げた一方、収益性改善や成長ドライバーの明確化及び実績化といった課題を次期中期経営計画へ持ち越す結果となりました。

## 2. 第 12 次中期経営計画の公表延期について

当社は、2026 年度を初年度とする第 12 次中期経営計画の策定を進め、将来の成長に向けた取り組みをステークホルダーの皆さまにお示しすべく、準備を進めてまいりました。しかしながら、足下の中東情勢の悪化を背景に、当社製品と密接に関わる石油化学製品について、調達面での不確実性や価格上昇リスクが顕在化しており、当社を取り巻く事業環境の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況を踏まえ、業績計画の前提となる外部環境からの影響について、より、慎重な検証が必要であると判断し、現時点での第 12 次中期経営計画の公表を延期することといたしました。

今後につきましては、外部環境の動向を注視しつつ、事業への影響について一定の見通しが得られた段階において、速やかに第 12 次中期経営計画を公表する予定です。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上